

しまね畜産女性ネットワークと交流して

社団法人 岡山県畜産協会 経営指導部

おかやまフォーベルネットは平成19年3月に設立して、早や3年がたとうとしています。

これまでに、畜産セミナー、消費者交流会等々、様々な活動をしてきましたが、平成22年2月18日初めての県外交流を島根県安来市で開催しました。

当日の安来市は、降雪の天候となりましたが、しまね畜産女性ネットワーク会員11名、おかやまフォーベルネット会員12名、事務局4名の計27名の参加となりました。

まず、視察場所として、島根県畜産振興協会のご協力をいただき、安来インターチェンジにほど近い、砂流牧場さんへ行くことになりました。

○砂流牧場視察

砂流牧場さんは、乳牛約60頭を飼育されています。

約25ha(河川敷15haを含む)の草地には牛の放牧も行われ、景観も美しくなり、地域の方にも喜ばれているそうです。



また、廃材で作られた休憩場には、近所の子供たちも遊びに来るようになり、現在は、教育フォームにも取り組もうとされているとのことです。



休息場の片隅には、共進会のトロフィーもずらりと並び、「様々な工夫をしながら、楽しく仕事をされつつ、経営は経営できちんとされている」と会員の方からも感心の声が上がりました。

まだまだ、話がつきない様子でしたが、限られた時間の視察のため、皆さん渋々、意見交換会場へと向かわれました。



○意見交換会

会場は、砂流牧場さんの近くにある「夢ランドしらさぎ」です。

まずは、島根県、岡山県の各代表からそれぞれの活動紹介が行われました。

その後、時間に制約があるため、昼食をとりながら自己紹介を行った後、4つのグループに分かれて意見交換会を行いました。

岡山畜産便り 2010.03

テーマは「消費者交流」と「後継者」についてです。

20分間、熱の入った討論が行われた後、取りまとめの発表会が行われました。



「消費者交流」については、「消費者との対応は確かに大変な部分もあるが、シャットアウトしてしまうとアピールもできなくなってしまふ。地域とのつながりも大切だし、絶対必要なもの。消費者はケガ、衛生面等には気を遣われるので、救急箱を常備し、安心感を与えることは大切。すべてにきちんとしておけば、決して悪い印象は与えない。」「命をいただく事に対する消費者の理解が必要。食べ物は安くてよいという考えは払拭してほしい。その

ためにも現場を理解してもらい、様々なイベントは継続していくことが大切」との意見があがりました。

「後継者」については、「自分達が楽しく、いきいきと仕事をしていけば、後継者もできる」「現在の状況を考えると、本当に継がせて良いか、悩むこともある。今後のことを考えると、社会保障がしっかりとし、所得確保は絶対必要」との意見があがりました。



しまね畜産女性ネットワーク川村代表より
牛刺しの差し入れ

○最後に

短い時間ではありましたが、活発な意見交換が行われ、なごりが尽きない中、「来年は、ぜひ、岡山へ」という話もあり、今後も良い交流が続いていくことを祈っています。

